

だからみんなで町会活動

会話から生まれる助け合いの心



末広町会 町会長 齋藤 秋雄さん

私が町会長になったのは11年前です。当時、末広町会は町会長が不在で、地区の町会連合会活動にはほとんど参加していない状態でした。自分でも町会のことを何も知らなかったので不安はありましたが、役員みんなが協力してくれるとのことだったので、町会長を引き受けることにしました。

現在はアパートを除くとほとんどの世帯が町会に加入しています。町会に加入し、行事などに参加すると近所同士が顔見知りになって会話が生まれたり、回覧板を回すときに隣の家庭と会話が生まれたりしています。日ごろから会話できる仲だと、何か困ったときにも助け合えるからいいですね。

行事や日ごろの活動では30代

～40代の若い人たちが活躍しています。役員も若手が多く、納涼祭の準備などもみんなで声を掛け合って積極的に手伝ってくれるところが末広町会のいいところだと思います。町会としても住民が入ってきやすいように役員や班長の負担を減らすようにし、「役員＝義務・責任」とならないように気を付け、みんなで楽しくやっていこうと心掛けています。

10年以上町会長を務めていますが、飽きることや辞めたいと思ったことは1度もありません。あえて希望があるとすれば、住民の要望をもっと聞きたいですね。いろいろな意見を聞きながらこれからも仲良く協力し合える町会でありたいと思っています。



▲納涼祭の様子（流しそうめん）

周りとのつながりが家族の将来のために

町会と関わりを持つようになったのは、引っ越し作業中に町会長さんが「町会に入ってみないか」と声をかけてくれたことがきっかけです。それから町会に加入し、まつりや子ども会などいろいろな活動に参加しています。基本的には家族全員で参加し、できるだけ運営の手伝いもするようにしています。

子どもがいて、学校のPTA活動や仕事もしているので、今は私たちにとって町会活動の優先順位は高くはありませんが、子どもが大きくなったり、自分たちの将来や老後考えたときに助け合える存在はきっと身近にいる町会の人たちなんだろうと思います。

そういう意味では自分の住んでいるところや周りの人たちとのつながりを大切にすることが、最終的には家族を守ることになるんだと思いますね。



高屋町会 黒木さん一家

いろいろな人との交流を楽しみに

私たちは地域活動をしている学生団体です。団体の創設者が町会に加入したことをきっかけに、地域との関わりを密接にしたいという思いから桔梗野町会と一緒に活動をしています。

去年は、町会の子どもたちと一緒に小栗山農村交流公園の一面を借りて野菜を育て、育てた野菜を町会の人と一緒に調理して食べるという事業を行いました。普段は子どもたちが大学生と関わる機会は少ないですが、町会の子ども会の機能を生かして交流することができました。また、桔梗野町会の夏祭り



▲野菜収穫の様子

にも参加し、来場者の誘導やブースの手伝いなどしています。地域活動の中で違う世代の人や関わる機会のない人たちと交流できるのも町会の良さだと思います。

はじめの頃はお互いに遠慮していて壁を感じましたが、子

どもたちとの活動やイベントの手伝いをしているうちに少しずつ打ち解けていきました。今は何か行事があるたびに町会のほうから連絡をくれるようになり、顔を合わせると「あ、田村さん！」と声をかけてもらえます。町会側も大学生の力を必要としてくれているみたいで嬉しいです。私の周りでも町会を含め、地域活動に参加してみたいと思っている学生は増えているように感じるのですが、他の町会でも学生を受け入れてもらえたらと思っています。



学生地域団体 Smoothie 田村 楓さん

住民と行政のパイプ役として

私は現在仕事をしながら西茂森町会の町会長を務めています。自分の周りに対して何か還元したいという思いで、町会長になってから2年経ちますが、住民の皆さんは自分の家の周りのことや、地域のことで相談したいことがあると私や町会役員のところへ来てくれます。パイプ役として、その相談を市役所の担当課へ報告することも町会長の重要な役割だと考えています。自分の仕事をしながら町会長の仕事もするのは大変な時もありますが、初めて会う人とつながることができたり、家族や職場以外につながりが生まれたりしたときに「町会長をやっているよかったですね」と感じます。

現在、西茂森町会は65世帯で構成されていて、他の町会に比べ

ると規模は小さいです。共働きが多くなったり、子どもたちも習い事をしたりと町会活動に割ける時間は少なくなっているように感じます。そんな中で夏祭りや行事など新しい活動を始めるのは難しいと思いますが、大きなことをしなくても町会費の徴収や情報共有ができて、隣近所の人々の顔が知れていけば十分だと思っています。

いずれは少しずつ世代交代もしていかなければいけません。身の丈に合った活動を継続して、現状を維持していければ良いかなと思います。10年たっても変わらずに、夏になれば子どもからお年寄りまでが児童公園に集まってみんなでラジオ体操をしている。そんな光景が目に見えてほしいと思いますね。



西茂森町会 町会長 小野 修司さん



▲ラジオ体操の様子